

施策評価シート

上位の政策名

3 人と自然にやさしい快適なまち

1. 施策名

3-(1) 循環型社会の仕組みを整える

2. 施策の概要

①環境保全

地球環境問題を視野に入れ、水質汚濁や大気汚染防止などの環境保全対策を着実に推進するとともに、市民、事業者の環境保全意識の高揚等を図るため、環境未来館の整備など、環境教育・学習を推進します。また、環境への負荷の少ない循環型の都市づくりを、事業者、市民と協力連携して進めます。

②一般廃棄物

i 家庭ごみ対策

ごみの発生抑制（リデュース）、リユース、リサイクルを推進します。

ii 事業所ごみ対策

事業者に対し、自己処理原則の周知徹底を図るとともに、ごみの排出抑制・資源化への取り組みを指導します。

iii 施設整備

公害防止対策や周辺環境との調和を図りながら、新北部清掃工場の建設などを行うとともに、市民が気軽にリユース・リサイクル活動に参加でき、意識啓発の拠点となる場を環境未来館に設けます。

③産業廃棄物

監視・指導の強化やマニフェストの普及などによる適正処理を促進するとともに、産業廃棄物の排出抑制、減量化・資源化、再生品利用の普及などに取り組みます。

3. 市民生活指標

指標名	13年度(※)	16年度	20年度又は直近の数値	目標値(23年度)	達成率	所管局
①市内6河川の環境基準達成率	78.0%	89.0%	100.0%	100.0%	100.0%	環境局
②-i 市民1人・1日あたりのごみの量	754.7 g	618.5 g (※)	599.4 g	578.6 g	96.5%	環境局
②-ii 事業所ごみの年間発生量	80,962トン	80,470トン	65,648トン	78,369トン	119.4%	環境局
②-iii ごみのリサイクル率	9.0%	13.3% (※)	16.4%	24.8%	66.1%	環境局
③産業廃棄物の再利用率	70.9%	76.3% (15年度) (※)	71.2% (18年度)	83.0%	85.8%	環境局

※旧鹿児島市を対象にしたもの

4. 施策における主な指標

指標名		19年度	20年度	所管局
①エコライフファミリー事業参加 家族の二酸化炭素排出量削減率 (単位：%)	目標値	8.0	8.0	環境局
	実績値	2.9	9.2	
	達成率	36.0%	115.0%	
②-i 資源化処理実績(古紙類、電 球・蛍光灯、乾電池) (単位：t)	目標値	13,500	13,500	環境局
	実績値	11,059	11,866	
	達成率	81.9%	87.9%	
②-ii 処理施設への搬入状況検査に おける適正値割合 (単位：%)	目標値	100	100	環境局
	実績値	90.9	92.5	
	達成率	90.9%	92.5%	
③廃棄物の不適正処理(野外焼 却)の発生件数 (単位：件)	目標値	122	108	環境局
	実績値	170	121	
	達成率	71.8%	89.3%	

5. 施策を構成する事務事業の状況

構成する事務事業の数	59 事業	
構成する事務事業の総予 算規模(単位：千円)	20年度	21年度
	955,747	2,136,541

6. 関係局による分析

■分析の種類(施策の達成度)

A:十分に達成されている

B:概ね達成されている

C:あまり達成されていない

環境局(環境保全、一般廃棄物、産業廃棄物)

	分析	理由
施策の達成度	B	(ア)市民及び事業所のごみの量は達成率がほぼ100%に達しているが、リサイクル率は達成率が約66%となっており、更なる取り組みが必要である。 (イ)かごしま環境未来館において、リユース・リサイクルショップの運営や廃食用油リサイクルを実施するなど、市民の3R意識啓発向上を目的としたソフト事業に取り組んでいる。 (ウ)河川の水質保全については、特定事業場の排水基準の監視や未規制事業場の排水指導並びに生活排水対策を行うことにより、概ね目標を達成している。

	考え方
今後の方向性	(ア)かごしま環境未来館において、リサイクルに関する講座の開設や日常生活用品の修理についての情報提供を行い、リサイクル率の向上に努めたい。【関連事業 ①30・31:関連事業については、巻末参考資料の「事務事業の状況」を参照のこと。以下同じ。】 (イ)ごみ出しカレンダーの配布や市電・市バスの車内広告を行い、3R(リデュース・リユース・リサイクル)の意識啓発と実践活動の推進を図りたい。【関連事業 ②8】 (ウ)6河川の環境基準監視や地下水の水質監視、水質、土壌ダイオキシン類の常時監視を引き続き行っていく。【関連事業 ①3・4】 (エ)循環型社会の仕組みを整えていくには、行政・市民・事業者が一体となって取り組んでいくことが求められることから、各分野における意識啓発を充実して低炭素社会、循環型社会に即したライフスタイルを確立するとともに、適切な指導や対策を行いたい。【関連事業 ①全て、②5～7・9・12、③全て】

7. 行政評価市民委員会における評価・意見

施策の達成度に対する評価

(ア)環境保全については、市民生活指標(市内6河川の環境基準達成率)、施策における主な指標(エコライフファミリー事業参加家族の二酸化炭素排出量削減率)共に高い達成率を示している。

(イ)一般廃棄物については、市民生活指標の「市民1人・1日あたりのごみの量」と「事業所ごみの年間発生量」については、高い達成率になっているが、「ごみのリサイクル率」については達成率が低く、更なる努力が必要である。また、施策における主な指標(資源化处理実績、処理施設への搬入状況検査における適正値割合)については、高い達成率を示している。

(ウ)産業廃棄物については、市民生活指標(産業廃棄物の再利用率)、施策における主な指標(廃棄物の不適正処理の発生件数)共に比較的高い達成率となっている。

(エ)市民アンケートによると、環境保全は、相対的に重要度は高いが、満足度は低いという結果になっているので、さらなる環境保全対策の強化と環境教育・学習を進めていく必要があると思われる。

今後の施策展開に対する意見

(ア)ごみの排出量は減少傾向にあるが、ごみの分別をはじめ3R(リデュース、リユース、リサイクル)に対する意識は、市民に十分に浸透しているとは思われない。したがって、環境未来館の更なる活用をはじめ、市政出前トークや生涯学習機関での環境学習の充実などに引き続き取り組み、市民への啓発を推進する必要がある。

(イ)産業廃棄物に関しては、適正処理を推進するため、事業所に対しての啓発活動とともに、優良事業所の登録など、優遇措置についても検討していただきたい。

(ウ)地球温暖化対策として、車社会を転換させるための取り組みが必要である。自転車専用道路を新設拡充するなど、自転車利用を普及する事業展開を望む。

その他の意見

(ア)市がイベントなどの各種事業を実施する際には、できるだけ紙ごみが増えないよう留意する必要がある。

施策評価シート

上位の政策名

3 人と自然にやさしい快適なまち

1. 施策名

3-(2) 潤いのある空間を創出する

2. 施策の概要

①自然環境

緑や水辺など自然の持つ多様な機能を生かしながら、自然環境の保全に努めるとともに、自然との共生やふれあいの確保、自然保護意識の高揚を図ります。

②公園緑地

全市的に調和のとれた配置と拡充に努め、既設公園のリニューアルを行うとともに、市民と協働した公園づくりについて検討します。

③都市緑化

公共の緑化の推進や民間の緑化の促進を図るとともに、自然緑地をはじめとする緑の確保に努めます。また、市民、事業者、行政のパートナーシップによる花と緑のまちづくりの体制・仕組みづくりを推進します。

④都市景観

市民と行政が一体となったパートナーシップ型の景観づくりを進め、歴史、文化、自然等を生かした都市景観を形成します。

3. 市民生活指標

指標名	13年度(※)	16年度	20年度又は直近の数値	目標値(23年度)	達成率	所管局
①保存樹の本数	37本(14年4月)	38本(17年4月)	42本(21年4月)	新規指定5本以上	100.0%	環境局
②市民1人あたりの公園面積	7㎡(14年4月)	7.28㎡(17年4月)	7.38㎡(21年4月)	11㎡	67.1%	建設局
③緑の確保量(市街地及び周辺区域面積に占める緑地の割合)	約15%(9年度)	—	—	約30%	—	建設局
④電線類地中化整備管路延長	10.4km	11.4km	14.566km	19.9km	73.2%	建設局

※旧鹿児島市を対象にしたもの

4. 施策における主な指標

指標名		19年度	20年度	所管局
①保存樹の本数 (単位：本)	目標値	42	42	環境局
	実績値	42	42	
	達成率	100.0%	100.0%	
②施設改良を行う公園数(小額の工事によるものを除く) (単位：箇所)	目標値	34	33	建設局
	実績値	34	32	
	達成率	100.0%	97.0%	
②本市が管理する都市公園数 (単位：箇所)	目標値	—	—	建設局
	実績値	574	577	
	達成率	—	—	
③市電軌道敷の緑化整備を行う道路延長(各年度) (単位：m)	目標値	1,940	1,070	建設局
	実績値	1,940	1,070	
	達成率	100.0%	100.0%	
③市電軌道敷の緑化整備を行う道路総延長 (単位：m)	目標値	8,900	8,900	建設局
	実績値	2,800	3,870	
	達成率	31.5%	43.5%	
④景観重要建造物・樹木の指定候補の決定数 (単位：件)	目標値	—	4	建設局
	実績値	—	6	
	達成率	—	150.0%	

5. 施策を構成する事務事業の状況

構成する事務事業の数	19 事業	
構成する事務事業の総予算規模(単位：千円)	20年度	21年度
	1,114,213	2,190,691

6. 関係局による分析

■分析の類型(施策の達成度)

A:十分に達成されている

B:概ね達成されている

C:あまり達成されていない

環境局(自然環境)

	分析	理由
施策の達成度	A	(ア)保存樹42本、保存樹林12箇所の指定を行うとともに、その保護を適切に行うことで、達成率は100%となっており、目標値を十分達成している。 (イ)現在、自然遊歩道を7箇所、9コース開設している。自然遊歩道のパンフレットを作成し、支所、公民館等の市施設に配布するなど市民への情報提供を適切に行っている。 (ウ)豊かな鹿児島市の自然を広く市民に紹介し、自然とのふれあいを推進するため、自然ふれあいスポットの動植物等について実態調査を行い、自然環境情報データベースを制作するとともに、かごしま環境未来館ホームページに掲載し、市民への情報提供を行った。

	考え方
今後の方向性	(ア)今後も保存樹・保存樹林の保護を適正に行い、自然環境を保護するとともに、人と自然の共生に関する意識の高揚を図りたい。【関連事業 ①1:関連事業については、巻末参考資料の「事務事業の状況」を参照のこと。以下同じ。】 (イ)自然とふれあう機会を促進し、人と自然の共生に関する意識の高揚を図るため、自然遊歩道を市民の憩いの場として活用するとともに、自然遊歩道の巡回を行う協力員を設置するなど、効果的な利用を推進したい。【関連事業 ①1】

建設局(公園緑地、都市緑化、都市景観)

	分析	理由
施策の達成度	A	(ア)公園緑地及び都市緑化の分野において、市民生活指標の達成状況が低いものの、施策における主な指標については高い達成状況であり、計画的な進捗状況を示している。【関連事業 ②1】 (イ)公園緑地、都市緑化及び都市景観の分野において、相当数の事業に取り組みながら、十分な予算総額を確保している。【関連事業 ②1～4、③1・2・4～7、④1～5】 (ウ)特に市電軌道敷の緑化整備については、ヒートアイランド現象の緩和や、沿線の騒音の低減など、都市環境の改善に効果が得られている。また、市電利用者や沿線住民等を対象としたアンケートにおいては、事業の実施・推進に対して「良い、賛成」との回答が9割近くにのぼったところである。【関連事業 ③2】

	考え方
今後の方向性	(ア)市電軌道敷緑化については、環境及び都市景観の面で高く評価されていることなどから、引き続き、緑化事業の推進を図ることが必要である。【関連事業 ③2】 (イ)地域性豊かで良好な景観形成に向けては、景観重要建造物及び樹木の指定等に、積極的に取り組んでいくとともに、今後効果が期待できる新たな事業を実施していくことが必要である。【関連事業 ④3～5】 (ウ)電線地中化については、平成元年度から取り組んでおり、一定の成果が得られているところではあるが、今後も取り組みを継続していく必要がある。【関連事業 ④1】

7. 行政評価市民委員会における評価・意見

施策の達成度に対する評価

- (ア)自然環境については、市民生活指標、施策における主な指標(保存樹の本数)共に100%の達成率である。
- (イ)公園緑地については、市民生活指標(市民1人あたりの公園面積)の達成率が相対的に低い。九州の他の中核市と比較しても高い水準ではないので目標値に近づける努力が必要である。
- (ウ)都市緑化については、施策における主な指標(市電軌道敷の緑化整備を行う道路延長(各年度))については、達成率も100%であり、この事業自体の評価も高い。
- (エ)都市景観については、市民生活指標(電線類地中化整備管路延長)の達成率は高くなってきている。
- (オ)市民アンケートによると、公園緑地及び都市緑化については、満足度、重要度共に高いが、都市景観については、相対的に重要度、満足度共に低い結果となっているので、都市景観に関する啓発活動を推進すべきである。

今後の施策展開に対する意見

- (ア)緑があふれ、自然とふれあえる街にするため、市民、事業者、行政が一体となった取り組みを進めていただきたい。
- (イ)市電軌道敷緑化は好評であるが、本市の公園は他都市に比べ、緑地部分が少ないと思われることから、公園に緑地と木陰を増やすことを望む。また、ヒートアイランド現象緩和のため、公共建築物の屋上緑化を進めるとともに、広葉樹など緑の多い大木を中心市街地に増やすことも検討していただきたい。
- (ウ)地域の公園は利用率が低いと思われることから、公園の位置づけを市民参加型の公園に転換し、住民が憩える木陰などを設けるとともに、管理も地域住民にお願いするなど、コミュニティ機能を持たせた公園にすることも検討していただきたい。

その他の意見

- (ア)潤いのある空間を創出するため、電線地中化をさらに進め、街路樹を増やし、風の通る街並みを構想すべきである。併せて鹿児島市の地形では困難を伴うが、水のもつ癒し効果も考慮すべきである。

施策評価シート

上位の政策名

3 人と自然にやさしい快適なまち

1. 施策名

3-(3) 住みよい暮らしを支える

2. 施策の概要

①住宅と住環境

i 住宅

住宅の建て替えや改修等を促進し、安全で良質な住宅ストックの形成に努めます。

ii 住環境

安全で快適な住環境の形成に努め、市民主導による地域の健全な住環境の維持向上を図ります。

②生活道路

安全性、快適性、機能性を高めた道路整備を推進するとともに、道路の適正な維持管理の充実に努めます。

③水道

安全でおいしい水を安定的に供給し、多様化する市民の要望を的確にとらえ、時代に即応したきめ細かい水道行政を推進します。また、工業用水の安定的な供給を図ります。

④污水対策

i 下水道

市街化区域内において処理区域の拡大に努め、水洗化を促進するとともに、幹線管渠の整備や処理施設の増強、老朽化した下水道施設の改築・更新を行います。また、下水汚泥の堆肥化など安定的な処理を推進します。一方、旧5町域においては、新市の都市計画の策定状況をみながら、地域の特性に応じた下水処理の方策について、調査・検討を行います。

ii 浄化槽・し尿

合併処理浄化槽の設置を促進するとともに、浄化槽の適正な使用や維持管理について普及啓発を図ります。くみ取りし尿については、効率的な収集運搬を行うとともに、衛生的な処理を行うため、衛生処理施設の整備を行います。地域下水道については、衛生的な処理や効率的な維持管理に努めます。

⑤環境衛生

市民意識の高揚に努めるとともに、地域住民や鹿児島市衛生組織連合会などとの連携により、住みよい生活環境づくりを推進します。また、犬等愛玩動物の飼い主の意識向上を図ります。

⑥墓地・斎場

市営墓地の施設改善や環境整備に努めるとともに、共同墓地の環境整備の促進に努めます。斎場については、北部・南部斎場の施設の充実に努めます。

3. 市民生活指標

指標名	13年度(※)	16年度	20年度又は直近の数値	目標値(23年度)	達成率	所管局
①- i バリアフリー市営住宅戸数	1,726戸	2,371戸	3,038戸	3,281戸	92.6%	建設局
①- ii 市民の住宅及び住環境に対する総合評価において「満足している」と答えた人の割合	70.0% (10年11月)	75.9% (15年度)	—	80.0%	94.9%	建設局
②主要な生活道路の整備延長	41km	45km	57km	64km	89.1%	建設局
③水道普及率	93.0%	95.6%(17年4月)	96.2%	97.2%	99.0%	水道局
④- i 下水道普及率	82.7%	76.8%	77.9%	81.3%	95.8%	水道局
④- ii 合併浄化槽による処理率	4.4%	8.4%	10.6%	12.3%	86.2%	環境局
⑤まち美化推進団体認定数	—	134団体(17年6月)	174団体	314団体	55.4%	環境局
⑥墓地環境整備調査箇所延数	3墓地	3墓地	11墓地	13墓地	84.6%	環境局

※旧鹿児島市を対象にしたもの

4. 施策における主な指標

指標名		19年度	20年度	所管局
①- i 市営住宅の建替・改善等戸数 (単位：戸)	目標値	398	644	建設局
	実績値	373	552	
	達成率	93.7%	85.7%	
①- ii 住居表示実施計画に基づく住居表示実施面積 (単位：ha)	目標値	6,941.3	7,086.4	建設局
	実績値	7,021.7	7,086.4	
	達成率	101.2%	100.0%	
②道路排水機能の整備延長(側溝整備事業) (単位：m)	目標値	10,636	9,143	建設局
	実績値	10,268	9,143	
	達成率	96.5%	100.0%	
③有効率(水道施設及び給水装置を通して給水される水量の有効使用率) (単位：%)	目標値	95.0	95.0	水道局
	実績値	92.8	92.1	
	達成率	97.7%	96.9%	
④- i 処理区域面積 (単位：ha)	目標値	8,321	8,321	水道局
	実績値	6,676	6,713	
	達成率	80.2%	80.7%	
④- ii 合併浄化槽の設置基数 (単位：基)	目標値	1,250	1,000	環境局
	実績値	1,607	1,405	
	達成率	128.6%	140.5%	
⑤まち美化地域指導員の認定人数 (単位：人)	目標値	200	200	環境局
	実績値	234	198	
	達成率	117.0%	99.0%	
⑤市民一斉清掃クリーンシティかごしまの実施 (単位：人)	目標値	60,000	70,000	環境局
	実績値	63,028	72,323	
	達成率	105.0%	103.3%	
⑥市営墓地環境整備事業による調査実施箇所数 (単位：箇所)	目標値	5	3	環境局
	実績値	5	3	
	達成率	100.0%	100.0%	

5. 施策を構成する事務事業の状況

構成する事務事業の数	60 事業	
構成する事務事業の総予算規模(単位：千円)	20年度	21年度
	17,231,060	15,741,330

6. 関係局による分析

■分析の種類(施策の達成度)

A:十分に達成されている

B:概ね達成されている

C:あまり達成されていない

環境局(浄化槽・し尿、環境衛生、墓地・斎場)

分析	理由
施策の達成度 A	(ア)合併浄化槽の設置に対して補助金を交付することなどにより、市民生活指標、施策における主な指標共に高い水準にある。 (イ)毎年8月に実施している「クリーンシティかごしま」をはじめ、本市と美しいまちづくり運動推進協議会が連携した活動により、美しいまちづくりの必要性が市民に浸透してきている。また、地域のまち美化啓発、指導を行う、まち美化地域指導員の認定者数は、ほぼ目標値に達している。 (ウ)墓地環境整備については、整備計画に基づき整備対象の墓地について整備している。

考え方
今後の方向性 (ア)浄化槽及び合併浄化槽の設置に対する補助は生活排水による水質汚濁の防止対策に有効であることから、引き続き取り組むとともに、啓発にも努めたい。【関連事業 ④9・10:関連事業については、巻末参考資料の「事業事業の状況」を参照のこと。以下同じ。】 (イ)まち美化推進団体、まち美化指導員の認定及び支援を積極的に行い、「市民総参加による美しいまちづくり」を推進したい。【関連事業 ⑤1】 (ウ)地域と学校の連携した清掃美化活動をさらに推進し、併せて、ポイ捨て地区の調査結果を町内会やまち美化推進団体等に提供するなど、地域の清掃美化活動に活用したい。【関連事業 ⑤1・5】 (エ)使用者の管理の行き届かない墓地等を整理し、事業用地として活用するなど、墓地環境を整備し適正な墓地の管理運営を図るとともに、墓参者の利便性を向上していきたい。【関連事業 ⑥1・3】

建設局(住宅と住環境、生活道路)

分析	理由
施策の達成度 A	(ア)安全で快適な生活基盤施設としての質の向上を図るため、住宅と住環境、生活道路の各分野の事業に取り組んでおり、市民生活指標、施策における主な指標は、いずれも高い達成率を示している。【関連事業 ①1～9、②1～15】 (イ)市営住宅の改善、建替等によるエレベーターの設置や、段差解消等のバリアフリー化、周辺環境に配慮した地元木材使用による木造住宅の建設、敷地内緑化などによる住環境の整備に努め、入居者はもとより、周辺の住環境への配慮も行われ、住みよい住宅、まちづくりに貢献している。【関連事業 ①1・2・5】

考え方
今後の方向性 (ア)機能的な道路網の整備のため、今後も引き続き、幹線道路整備計画に基づき、目標値に対して、達成できるよう取り組んでいく。【関連事業 ②1】 (イ)市営住宅は住のセーフティネットとしての大きな役割を担っており、既存ストックの市営住宅の改善、建替等により、住まいの確保を行う必要がある。また、既存ストックの改善については、行政が率先して行うことにより、民間住宅にも普及し、居住水準の向上につながることから、今後も、バリアフリー型住宅や、環境に配慮した住宅等への改善、建替等を進め、良好な住宅・住環境の整備に努める。【関連事業 ①1・2・5】

6. 関係局による分析

■分析の類型(施策の達成度)

A:十分に達成されている

B:概ね達成されている

C:あまり達成されていない

水道局(水道、下水道)

	分析	理由
施策の達成度	A	(ア)水道分野においては、市民生活指標「水道普及率」は、給水区域の拡大(簡易水道などの編入)、地域の需要に対応するための施設整備に積極的に取り組んだ結果、ほぼ100%と高い達成率となっている。また、施策における主な指標「有効率」については、漏水防止対策の推進に取り組んだ結果、96%以上と高い達成率となっている。【関連事業 ③1・4～8・10】
		(イ)下水道の分野においては、市民生活指標「下水道普及率」、施策における主な指標「処理区域面積」共に、達成状況の推移を見ると、順調に達成率が向上している。【関連事業 ④1～8】

	考え方
今後の方向性	(ア)今後も給水区域の拡張(簡易水道などの編入等)を行い、安全で良質な水の安定的供給に努めていきたい。また、目標有効率95%の達成に向けて、今後も、老朽配水管の更新、老朽給水管や鉛製給水管の取替、漏水調査の実施、漏水箇所の修繕及び高水圧地区の解消などの漏水防止対策に取り組んでいく必要がある。【関連事業 ③1・4～8・10】
	(イ)今後も快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るため、事業認可の変更を行い、認可区域の拡大をして公共下水道の整備を推進していく必要がある。【関連事業 ④1～8】

7. 行政評価市民委員会における評価・意見

施策の達成度に対する評価

(ア)住宅と住環境、生活道路、水道、污水対策、墓地・斎場については、市民生活指標、施策における主な指標共に高い達成率を示している。環境衛生については、市民生活指標(まち美化推進団体認定数)の達成率が低いので、上げていく努力が必要である。施策全体的には、住みよいまちとして整備が進んでおり、評価できる。

(イ)市民アンケートによると、環境衛生については、相対的に満足度は高いが、重要度は低い結果となっているので、市民の関心を喚起する必要があると思われる。住宅と住環境については、達成度は高いが、重要度、満足度共に相対的に低いので、市民への啓発と市民のニーズを汲み取る努力が必要であろう。生活道路については、達成度は高く、重要度も高いが、満足度が相対的に低いので、さらに市民のニーズに合わせた施策を模索する必要があると思われる。

今後の施策展開に対する意見

(ア)今後、少子高齢化が一層進むことから、バリアフリー化をはじめ、高齢者にやさしい生活環境の確保に努めていただきたい。

(イ)市営住宅に関しては、ストックマネジメント(※)の考え方を重視しながら、建物の維持に努め、必要に応じてバリアフリーなどの改修を行うという方向が望まれる。また、建て替える際は、現在地にそのままではなく、設置時との人口動態の変化を検討した上で行うべきである。

(ウ)環境美化については、市民意識の高揚に対する努力はなされているが、ポイ捨て防止などは子どもの頃からの習慣付けが重要なので、学校教育と連携した取り組みも進めるべきである。

※ストックマネジメントとは、計画的な維持保全や適切な維持管理等など、既存の建物(ストック)を有効に活用し、建物の長寿命化を図る手法のことをいう。

その他の意見

(ア)市道については、今後も距離が延びることによる維持費の増加も予想されるので、維持費の抑制についても十分検討する必要がある。

(イ)住みよい街づくりのためには、地域猫(※)への取り組みも検討していただきたい。

※地域猫とは、地域の有志が地域住民の理解と協力を得たうえで、これ以上増えないように野良猫の不妊去勢手術を行い、エサ場の管理、糞尿の始末等、一定のルールに従って飼養管理する一代限りの猫のことをいう。